

【今後中核となる電波利用システム】

【周波数の再編方針】

【情報通信審議会 答申】 「電波政策ビジョン」の提言

世界最先端のワイヤレス
ブロードバンド環境の構築

今後の電波政策のあり方

- I 抜本的な周波数割当ての見直し
 - ・周波数の再編方針の策定
 - ・周波数割当計画改訂の段階的实施
- II 周波数の再配分・割当制度の整備
- III 電波利用料制度の抜本的な見直し
- IV 研究開発の推進
- V 無線端末の円滑な普及促進
- VI 国際戦略の一層の強化
- VII 安心で安全な電波利用環境整備

移動通信システム

携帯電話、PHSの中長期の加入者数及び所要伝送速度等の推計をもとに、ITUが策定した予測方法を用いて算出した周波数需要(5~6GHz以下)

- ・約270MHz幅(現状)
- ・**330~340MHz幅(5年後)**
- ・**1.060~1.380MHz幅(10年後)**

無線LAN・NWA

無線LANの中長期の利用者数及び所要伝送速度等の推計をもとに、ITUが策定した予測方法を用いて算出した周波数需要(主に5GHz帯)

- ・約160~200MHz幅(現状)
- ・**最大約480MHz幅(5年後)**
- ・**最大約740MHz幅(10年後)**

地上テレビジョン放送

デジタル化の円滑な推進とその普及・発展
三大広域圏(関東、中京、近畿)では、2003年12月に、その他の地域では2006年末までにデジタル放送を開始。2011年にアナログ放送を終了。

RFID(電子タグ)

物流等の多様な分野で(自動改札用ICカード、商品管理、物流管理等)電子タグの高度利活用が進展

UWB、ITS、準天頂衛星通信システム、情報家電等

電波利用システムの高度化、開発の進展及び導入の促進

- ① 5年以内に1.7GHz帯、2.5GHz帯を中心に約330~340MHz幅を確保
 - ・**800MHz帯**(現在、MCA等で利用)で8MHz幅
 - ・**1.7/2.5GHz帯**(現在、国の固定通信、民間の衛星等で利用)の一部の帯域
 - ・**2GHz帯**で15MHz幅等
- ② 5~10年以内に5~6GHz以下を中心に最大で約1.38GHz幅を確保
 - ・**VHF/UHF帯**(現在、放送で利用)の一部の帯域
 - ・**800MHz帯**(現在、地域防災無線通信、空港無線電話で利用)で10MHz幅
 - ・**1.5GHz帯**(現在、MCA等で利用)で18MHz幅
 - ・**3.5GHz帯**(現在、放送中継で利用)で200MHz幅の一部の帯域
 - ・**4G/5GHz帯**(現在、電気通信事業者の固定通信で利用)の一部の帯域

- ① 5年以内に5GHz帯を中心に最大で480MHz幅の周波数需要に対応可能な周波数を確保
 - ・**4.9~5.0GHz帯**(現在、電気通信事業者の固定通信で利用)で100MHz幅
 - ・**5.25~5.35GHz帯**(現在、国、電力会社等の気象レーダで使用)で100MHz幅
 - ・**5.47~5.725GHz帯**(現在、国等のレーダで利用)の一部の帯域
- ② 5~10年以内に5GHz帯等を中心に最大で約740MHz幅の周波数需要に対応可能な周波数を確保
 - ・**5GHz帯**(現在、電気通信事業者の固定通信で利用)の一部の帯域
 - ・**準ミリ波帯**の利用拡大及び**ミリ波帯(59~66GHz)**の開発・導入

- ① デジタル放送の円滑な全国展開のための周波数割当て
- ② **UHF帯**は、2012年以降、移動通信システム等に利用
- ③ **VHF帯**は、地上デジタル音声放送、移動通信等に関する今後の利用ニーズを踏まえ、2011年以降新規需要への割当て

現在、135kHz帯(10~135kHz)、13.5MHz帯(13.553~13.567MHz)、2.4GHz帯(2.4~2.4835GHz)等が確保されているが、多様な用途に対応できるよう、**950MHz帯**付近等の新たな周波数帯も検討

- ① UWB無線システム：情報通信審議会における**マイクロ波帯(3.1~10.6GHz)**への導入のための技術的条件の検討結果を踏まえ、来年度を目途に制度化
- ② ITS関連電波システム：既存の**5.8GHz帯(5.77~5.85GHz)**における周波数の効率的利用の促進を行いつつ、高度化について利用周波数帯等を検討
- ③ 準天頂衛星通信システム：通信・放送・測位サービスに関し、WRC-03で2.6GHz帯(2.605~2.630GHz)が音声衛星放送用に分配されたこと、通信・測位用に割当て可能な周波数及び今後の研究開発動向等を考慮しつつ検討
- ④ 情報家電：電波の利用状況の調査結果や市場ニーズ等を踏まえ、**5GHz帯近辺**の周波数割当てを念頭に、具体的な利用周波数、必要帯域幅等を検討

今後、電波法に基づく周波数割当計画の改訂を段階的に実施

【用語】 NWAシステム(Nomadic Wireless Access: ホットスポット等の非定住型の無線アクセス)、RFID(Radio Frequency Identification: 電子タグ)、UWBシステム(Ultra Wide Band: 超広帯域無線システム)、ITS(Intelligent Transport System: 高度道路交通システム)